

# 糸我小学校だより

令和2年7月15日



## いじめの防止と学校の取組

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼします。そして、被害者、加害者だけの問題ではなく、その周りには、はやし立てたり面白がって見ていたりする観衆、見て見ぬふりをする傍観者も存在します。いじめは、すべての児童にかかわる問題であると知らせ、当事者意識をもつようにすることが大切になります。

学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、職員で研修し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。集団で生活をするなかで、人間関係による問題が発生することがあります。それをいじめの問題にならないようにするため、お互いを認め合うあたたかい人間関係を築けるように取り組んでいます。また、道徳でいじめを取り上げた資料を使って、授業を進めてもいます。

また、早期発見、早期対応をするため、児童いじめアンケートを実施しています。そして、いじめと考えられる事が出てきた場合は、聞き取りをし、解消するように対応しています。

今後も、私たちは、「いじめはどこにでも起こる」という認識を持って、アンテナを高くして子供達を見守っていきます。ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。



## 情報モラル教育

6月23日（金）に和歌山大学の豊田充崇先生にお越しいただき、情報モラルについての授業を、低学年と高学年に分けて行っていただきました。

低学年は、歩きスマホのような危険な行為や、タブレット等で動画視聴に夢中になってしまうことによる周りの人とのトラブルを、どのようにすれば改善できるかを考えました。また、ネットの中でのいじめについても、なくす方法を考えました。年齢制限のあるゲームがあることや、ゲームは時間を制限してすることが大切であることも学びました。

高学年は、友達とのLINEのやりとりでは許容することが大事なことや、肖像権に関すること、投稿の危険性、タブレットやゲーム機器は時間を制限して扱うことなどについて学びました。

動画や画像を見ながら、具体的な例に沿って授業が進み、子供達はよく理解して、積極的に意見を発表することができていました。



低学年の授業の様子



高学年の授業の様子

## 本が寄贈されました

社会福祉協議会から本を寄贈していただきました。4万円分（34冊）です。楽しい内容の本ばかりですので、ぜひ子供達に読んでもらいたいと思います。

また、市の予算で図書館の床カーペットを新しいものに敷き替えていただきました。靴を脱いで過ごせるようになりました。



## 心肺蘇生法講習会

7月1日（水）に、有田市消防署の署員2名を講師にお迎えして、保護者と教員対象の心肺蘇生法講習会を実施しました。身近で倒れた人がいる場合を想定して、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDの使用法を中心に実習を行いました。

胸骨圧迫は、圧迫する位置、圧迫の深さや速さ等を実習し、また、AEDは実物と同じ形のモデルを使って実習しました。

保護者の皆さんも教員も真剣に実習に取り組み、積極的に質問をして、心肺蘇生の方法と知識を身につけることができました。



## シールドを使用しています

7月1日（水）から、新型コロナウイルス感染防止のために、机に透明のシールドを立てて、給食をしています。このシールドは、有田市教育委員会から支給されたものです。子供達はシールドの中で、静かに食事をしています。



4年生



2年生

## 生活リズム

子供達にとっての生活リズムは、朝できあがります。自分で起きることは、リズムを作ると同時に自立心も着きます。ですから、朝起きる時間を一定にし、自分で起きられるようにしましょう。目覚まし時計を使ってもよいです。朝を大切にしましょう。

